

教え合いシステムに関するヒアリング 議事録

日時：平成 30 年 6 月 19 日（火）15:30~16:00

場所:端末室 I

参加者:上田晋生、高濱阜史郎、村上颯人、藤田智子、梅本春輝

本議事録作成者:上田晋生

1. 仮想通貨の受け渡しについて

●画面デザイン図の着金画面のヒアリングにおいて、仮想通貨売買機能について問題となった。私達が元来考えていたのは、他のアプリを用いることでその機能を実装しようということだった。しかし、他のアプリを用いることなく、その機能を実装できるのではないかと。また、もしも可能なら、将来的に可能であると発表で用いたほうが良いという判断となった。

2. 発表の際の Android の画面を見せる際にどうするか

●私達が所有している Android 機種画面を、講師側で用意できる規格コードを用いて発表の際の画面に表示できるか問題となった。もしも、コードを用いる場合は講師との相談を早めにする必要がある。

●ヒアリング後の話し合いで、ワイヤレス接続用の AllCast Reciver、Mirror、USB にて接続する Visor、デバイスをルート化しての AirDroid、といくつかの案が出た。

3. チャットが持つ機能について

●質問や回答をわかりやすくするために、画像や動画を送りあえるようにすると仮定すると、それらの規格はどうすべきであるかの話となった。

●画像を送りあえる機能を持つことが最低限必要な機能だと決定した。そのため、どの画像ファイルを用いるか相談、もしくは実装に合わせて考えていく必要がある。

4. 通報機能について

●アプリの不適切な発言、使用を行うユーザーを運営側に知らせてもらうための通報機能についての話において、通報された数が一定以上の場合に、自動的に処理するのではなく、運営側の人を確認して、処理することとすることが決定した。

●サーバー側は、通報された数が一定以上のユーザーを運営に知らせる機能を持つ必要があるだろう。

5. GUI は何を用いるか

●ユーザーが用いる画面の GUI を実装する際にどのようにするかの話となった、案として提示されたのが Webview、Android にもともと組み込んであるもの、また、Web 自体を使

ってもよいのではないかという話にもなったがサーバーの負担が増えるという問題があった。これらについての話し合いが必要だろう。